

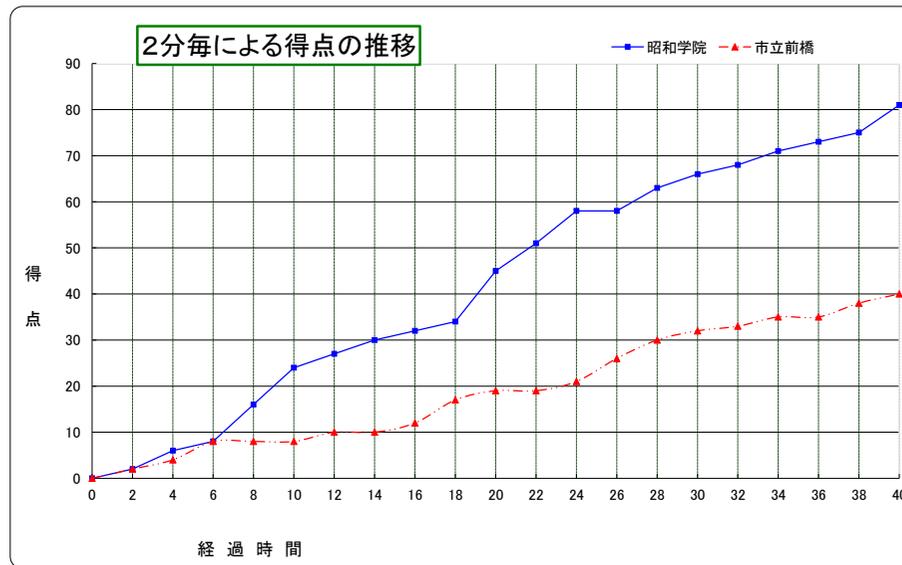
平成28年度第27回関東高等学校 バスケットボール新人大会

平成29年2月11日(土)
毎日興業アリーナ久喜
女子1回戦 D2

チームA 昭和学院 (千葉)	81	{	<table border="0"> <tr><td>24</td><td>1st</td><td>8</td></tr> <tr><td>21</td><td>2nd</td><td>11</td></tr> <tr><td>21</td><td>3rd</td><td>13</td></tr> <tr><td>15</td><td>4th</td><td>8</td></tr> </table>	24	1st	8	21	2nd	11	21	3rd	13	15	4th	8	}	40	チームB 市立前橋 (群馬)
24	1st	8																
21	2nd	11																
21	3rd	13																
15	4th	8																

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	佐古 愛	9	1	3	3	7	0	0	1	1	1	2	0	0	0
5	大塩菜々子	13	0	2	5	9	3	3	0	2	1	0	1	1	1
6	平野 尚	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
7	宗形 真李	11	1	1	2	3	4	4	2	2	6	1	3	0	2
8	山下 詩織	5	0	0	2	9	1	2	2	4	7	0	1	2	3
9	宮城 朋佳	3	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
10	大竹優香子	6	0	2	3	7	0	0	2	2	5	2	1	0	3
11	星 杏璃	15	1	3	5	9	2	4	0	1	3	8	4	2	5
12	関 千尋	3	0	0	0	3	3	4	1	2	0	0	0	0	0
13	松本 堇	9	2	4	1	5	1	2	1	1	4	1	1	0	4
14	佐々木清夏	2	0	1	1	3	0	0	1	1	2	0	0	0	2
15	山下 莉世	3	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	池見 碧衣	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
17	黒澤 楓	2	0	1	1	2	0	0	0	1	3	0	0	2	1
18	高橋 杏夢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
コーチ	鈴木 親光														
		81	7	19	23	58	14	19	12	17	34	15	12	7	22
		確率								計	51				

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	秋山 真緩	6	0	4	3	7	0	0	4	0	1	0	3	0	7
5	原田紗佳瑛	7	2	8	0	6	1	4	2	0	5	0	0	1	6
6	大川菜々子	17	0	4	7	22	3	3	4	4	2	1	0	0	2
7	高橋 芹菜	0													
8	間瀬 未来	4	0	1	1	3	2	2	0	1	3	0	0	0	2
9	星野 真里	0													
10	横田 楓	0													
11	秋山 桃葉	6	0	2	3	11	0	0	0	1	2	1	0	0	2
12	小林 梨華	0													
13	沼尻さくら	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1
14	永井 利奈	0													
15	小林 桃花	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
16	遠藤 実咲	0	0	4	0	3	0	0	1	0	2	3	2	0	0
17	松島 真優	0													
18		0													
コーチ	平田 剛久														
		40	2	23	14	54	6	9	11	6	15	5	5	1	21
		確率								計	21				



戦評

第1P 両チームともにハーフマンツーマンディフェンスでスタート。1対1で攻めるがお互い硬さが目立ち、シュートが決まらない。ゲームが動いたのは#11の2本連続スティールによって、徐々に昭和学院が流れを掴んでいき、#13のレイアップシュートや#5のハイポストからのシュートで18対8の10点差になる。市立前橋も外角シュートで応戦するが、シュートが決まらず、波に乗れない状態で、24対8で昭和学院リードで終了。

第2P 昭和学院はハーフマンツーマンディフェンス。市立前橋はオールコートマンツーマンディフェンスで相手のミス誘いたいところだが、昭和学院は落ち着いてパスを回し、#7の3p、#10のインサイドからのシュート、#11のスティールからの速攻などから徐々に得点を重ねていく。市立前橋もスクリーンで崩し、外角シュートを打つがなかなか決まらない。45対19で前半を昭和学院リードで終了した。

第3P 昭和学院は#11のスティール、#8のジャンプシュートなどで連続得点。巧みなパスワークとスクリーンプレーで崩す。市立前橋も#5の3pとドライブ、#6のドライブとリバウンドシュートで応戦するもなかなか点差が縮まらない。66対32で昭和学院がリードして終了。

第4P 点差を縮めたい市立前橋は#4の2pを皮切りに猛追を図りたいところだが、#6の3p、#5のジャンプシュートはリングに嫌われてしまう。昭和学院はバス回しで展開してからドライブや#8のリバウンドシュート、#12のゴール下でファウルをもらい、フリースローで得点を重ね、引き離す。両チームとも粘り強いディフェンスであったが、オフェンスリバウンドを制し、シュート力の勝る昭和学院が81対40で2回戦に進出した。

記入者 渡辺 恵理

Ref	渡辺 整	1st U	小林 恵	2nd U
-----	------	-------	------	-------